

■Prologue

嗯.....應該是這間休息室沒錯吧.....。

えっと...確か、この楽屋だったはず...

.....啊，找到了。

.....あ、いたいた。

.....那個，突然打擾不好意思。

.....えっと、急にごめんなさい。

你是澄華醬的相關人士，沒錯吧？

澄華ちゃんの関係者の方で、合ってるよね？

其實，好像臨時有個拍攝的案子，她來不了了。

実は、急な撮影の案件が入って、来れなくなっちゃったみたい。

她說很抱歉不能見面喔。

会えなくてごめんなさいって言ってたよ。

.....嗯～，澄華醬真的很忙啦。

.....うーん、澄華ちゃんってすごく忙しいから。

應該是連傳達的時間都沒有吧？

伝える暇もなかったんじゃないかな？

.....啊，不，我接下來是休息時間，所以完全沒關係。

.....あ、ううん。私はこの後オフだったから、全然平気。

而且聽說是澄華醬的熟人.....就有點好奇是什麼樣的人。

それに、澄華ちゃんの関係者って聞いたから.....どんな人なのかなって。

.....嗯，沒什麼變呢。

.....うん、あんまり変わってない。

.....嗯？ 唔，這是什麼意思呢。

.....ん？ さあ、なんのことだろ。

比起那個，你還記得我是誰嗎？

それより、私のこと、誰か分かる？

.....嗯～，答對一半。雖然沒錯，我是偶像桜坂希空.....。

.....んーつと。半分正解。確かに、アイドルの桜坂希空ではあるけど.....。

真的不記得了？

ほんとに分からない？

.....這樣啊。那就試著叫叫看“希空醬”吧？

.....そっか。なら、試しに希空ちゃんって呼んでみて？

.....沒關係啦，叫吧。

.....いいから、ね。

.....呼呼，對啦。終於發現了。

.....ふふ、そうだよ。やっと気づいた。

哎呀，真是受打擊耶。我還以為以前我們算是蠻要好的.....。

あーあ、ショックだなー。昔はそれなりに仲良しだったと思ってたんだけど....。

.....呼呼。開玩笑的啦。你那種馬上道歉的反應，還是一模一樣呢。

.....ふふっ。なんて、冗談だよ。そうやってすぐに謝るとこも、あの頃と一緒にだね。

好久不見了。從小學畢業以來吧。

久しぶり。小学校以来、かな。

雖然以前是同班，不過畢業後就上不同的學校了.....

同じクラスだったとはいえ、卒業してからは別々の学校になっちゃったし...

你不記得我的夢想了.....也不是不能理解啦。

私の夢のこと、覚えてないのも.....まあ、無理はないかな。

其實，我跟澄華醬一樣，也一直在追夢呢.....當偶像。

実は、私も澄華ちゃんと一緒に、目指してたんだよ.....アイドル。

.....啊，想起來了嗎？呼呼，太好了。

.....あっ、思い出してくれたの？ ふふっ、やったあ。

.....嗯。因為當偶像是我從小的夢想.....。

.....うん。アイドルは、昔からの夢だったから....。

雖然一直被父母反對，但我真的無法放棄.....

ずっと両親に反対されてたんだけど、でも、諦めきれなくて...

下定決心就算被斷絕關係也要開始。

縁を切られる覚悟で始めちゃった....。

但現在真的很開心。

でもね、今はすっごく楽しいんだ。

雖然舞蹈練習什麼的非常辛苦.....

ダンスの練習とか、すっごく大変だけど...

但我現在滿滿都是「開始真是太好了」的心情。

今は、始めて良かったって気持ちでいっぱいだよ。

.....沒、沒必要連那種事都記得啦。

.....も、もう、そんなことまで思い出さなくてもいいってばあ。

說起來，小時候還說是偶像訓練什麼的，讓你陪到很晚.....

そういえば、小さい頃はアイドルの特訓とか言って、

遅くまで付き合わせちゃったこともあったっけ...

不過也正因為有那些經歷，才有現在的我.....

けど、それがあったからこそ、今の私があるのも事実だから...

算是.....不錯的回憶吧。

いい思い出、かな...

.....嗯？ 唔，嗯.....我的事就別在意了啦？

.....ん？ まあ、うん...私の事は気にしないで？

難得見面嘛，我想再多聊一下.....

せっかくだから、もうちょっとお話したいかなって...

.....不行嗎？

...だめ、かな？

.....呼呼，那就說定了。

.....ふふつ。じゃ、決まりだね。

啊，說到澄華醬.....

あ、澄華ちゃんと言えば...

其實我啊，聽說過一個這樣的傳聞.....

実は私、こんな噂を聞いたことがあるんだ...

雖然不知道是不是真的.....

本当かどうかはわからないんだけど...

聽說有個非常熱情的粉絲男孩，跟澄華醬還有天音小姐.....

とある熱心なファンの男の子が、澄華ちゃんや、天音さんと...

做了一些不可以的事情呢。

イケナイことをしてるみたいなんだって。

.....如果被發現的話，說不定會被其他粉絲圍毆也不奇怪的那種事.....對吧？

...もしバレたら、ファンの人たちに襲われちゃってもおかしくないようなことを...ね？

.....嗯~？ 你剛剛突然抖了一下，是怎麼了？

.....んー？ 急にびくってして、どうしたの？

啊.....該不會，你對那個粉絲男孩有什麼印象吧？

あ...もしかしてえ、そのファンの子に心当たりでもあるのかな？

還是說.....那個粉絲男孩，其實就是你？

それとも...そのファンの男の子って、君だったりして...？

.....嗯，真是的，沒必要那麼害怕啦。

.....ん、もう、そんなに怖がらなくてもいいのに。

.....我又不是想威脅你？

.....別に、脅すつもりなんてないよ？

要說的話.....只是小小的惡作劇吧。

しいて言うなら、ほんのお遊び...かな。

我只是想看看你會有什麼反應。

君がどんな反応するのか、気になっちゃって。

.....其實啊，我從澄華醬那裡聽說了全部的事喔。

.....本当のことを言うとね、私...澄華ちゃんから全部聞いてるんだ。

關於你和澄華醬、還有天音小姐之間的關係.....

君と澄華ちゃん、それに天音さんとの関係のことも....。

澄華醬啊，好像對你跟天音小姐的關係有點困惑。

澄華ちゃん、君と天音さんの関係を見て、少し戸惑ってたみたい。

她一直在想要怎麼做，才能成為“你心中的第一名”。

どうしたら“君の一番になれるのか”って…。

……當然囉。

……もちろん。

你對天音小姐的情感，我也都知道。

君が天音さんを想う気持ちも、ちゃんと知ってる。

還有你對澄華醬的心意……我也明白喔？

それに、澄華ちゃんのことを想ってる気持ちも……ね？

兩個人都想成為你最特別的存在。

二人とも君の一番になりたがってるものね。

……你也在動搖吧？

……揺れてるんでしょ？

雖然你想要珍惜她們兩個，但又覺得那樣是不是太不誠實……

どっちも大切にしたいと思う一方で、“それは不誠実なんじゃないか”って、

心裡某個角落裡，其實很在意這件事。

心のどこかで、心配してる。

……但其實呢，那只對了一半，也錯了一半。

……けどね、それは半分正解で半分間違い。

同時跟多人有關係，現在已經是稀鬆平常的事了。

複数の人と関係を持つなんて、今では当たり前のことなのに。

更何況，你可是那個“戀人轉蛋”中被選上的人喔？

ましてや、君はあの“恋人ガチャ”に選ばれた人なんでしょ？

擁有優秀基因的你，會與多位女孩建立關係是理所當然的，

優秀な遺伝子を持つ君が、複数の関係を築くなんて当然のことだし、

甚至可以說是國家都在鼓勵這樣的事呢。

むしろ国がそれを推奨してるくらいなんだから。

……所以啊，你不需要太緊張啦。

……だからね、そんなに気を張らなくてもいいんだよ。

如果你還在猶豫——

もしまだ迷ってるなら——

要不要.....再多加一個人進來看看呢？

もう一人...増やしてみる...とか？

.....我啊，跟她們不一樣喔？

.....私は、彼女たちとは違うよ？

我不需要成為你的“第一”。我有自信能跟大家好好相處。

君の“一番”にならなくてもいい。みんなと仲良くやっていける自信...あるし。

所以嘛，嗯.....？

だから、ね.....？

困難的事之後再想就好了.....

難しいことはあとで考えればいいから...

現在，就先——撒嬌一下，讓我寵寵你好嗎？

今はただ——私に、甘えてみない？